

# ようやく「日本の世紀」がやってきた

～いま世界で何が起きているか～

- 日下 公人 1930年生まれ、東大経済学部卒、日本長期信用銀行取締役・東京財団会長歴任、ソフト化・サービス化の時代をいち早く先見、日本経済のナビゲーターとして活躍未来予測の正確なことに定評、近著に「こうして2016年日本の時代が本格的に始まった！」「トランプなんか怖くない」等
- 馬淵 睦夫 1946年生まれ、京大法学部卒、3年在学中に外務省公務員上級試験に合格・外務省入省、英国ケンブリッジ大学経済学部卒、駐キューバ大使ウクライナ兼モルトバ大使、防衛大学教授歴任、現吉備国際大学客員教授、著書に「世界を操る支配者の正体」「反日中華を操るのは実は同盟国アメリカ」「そうか、だから日本は世界で尊敬されているのか！」等

本当は世界で何が起きているのか、誰が世界に影響を及ぼしているのか、これらを知らなければ日本の将来設計増を描けません。

世界情勢の根本にあるのがグローバリズムとナショナリズムの対立です。メディアから目隠しされた「通貨の秘密」や「ユダヤ思想が近代に果たした役割」を理解しないと世界で何が本当に起きているのか分からない。

馬淵氏はイスラエルに勤務してユダヤ社会の中で生活した実体験があり、日下氏は日本長期信用銀行で1990年代の金融ビッグバンの最前線で貴重な経験をした、この対談は日本と世界の未来に対する希望と確信で締めくくられている。

{ いま世界は大きく変化している }

- \* 崩壊したソ連と同様に共産中国も人工国家で、作った側がつぶそうと思えば潰れる。
- \* イギリスのEU離脱は国家ナショナリズムが一応勝利、トランプ現象も然りで、大きな文明の転換期にある「グローバリズムの時代は終わり、ローカリズムの時代」
- \* テロは世界をグローバル市場化する為の手段として使われている、ISはイスラムの過激主義でもなく、グローバル化勢力が使っている単なるテロ集団に過ぎない。
- \* ナショナリストの雄はプーチン露大統領、安倍総理はグローバリストにいい顔をして、プーチンともキチンと連携しようとして、難しいところ。

{ 日本の世紀が来る }

現実味は米国が明らかに中国ではなく日本と組むことを決め日本の利益と米国のグローバリストでない勢力の利益が一致、プーチンもメルケルも安倍さんにくっついてくる。

{ 伊勢志摩サミットで流れが変わった }

- \* 世界経済をコントロールするには国家がもっと主導権を発揮しなければならないとの方向でリーダーシップを取った安倍さん。
- \* 財務省やマスコミは「日本に1千兆円超の借金があり、いつ国債が暴落してギリシヤみたいになるか分からないと大ウソを言いながら、安全な資産として円が買われた」と云う、日頃何の勉強もしていない新聞はまとめて沈没する。
- \* 中国は張り子のトラ、共産主義体制と云っている社会主義的市場主義は両立しない、今迄支援してきた米国ウォールストリートは大儲け、共産党エリートも民衆を搾取し、被害者は中国の民衆でとくに壊れている。
- \* イギリスのEU離脱で一番喜んでいるのはプーチン、EU はエネルギーで大きくロシアに依存し経済的にロシアと共存しないとやっていけない。
- \* ロシアへの日本経済協力～安倍総理の八項目～
  - ① 健康寿命の伸長 ② 快適・清潔で住みやすく活動しやすい都市づくり
  - ③ 中小企業交流・協力の基本的拡大 ④ エネルギー ⑤ ロシアの産業多様化・生産性向上 ⑥ 極東の産業振興・輸出基地化 ⑦ 先端技術協力
  - ⑧ 人的交流の根本的拡大この新たな発展モデルはグローバリズムではない日本的な哲学の入ったものを、世界に広めることになる、ロシアとの共存に成功すればロシア史上初めての安定国家となり得る。
- \* ウクライナ危機はネオコンの仕業、ウクライナの大使をしていたので温厚な国民性からは理解できなかったが、ネオナチとか極右の連中が民衆勢力の中に紛れ込んで、デモをしていた、プロモートしたのは米国外交官ユダヤ系の女性で旦那はネオコンの代表的論者、ウクライナ危機はプーチンではなくネオコンがプーチンを倒す計画から起こした、巨額の資産を持つユダヤ系の投資家ジョージ・ソロス等がプーチンを倒す計画のもとウクライナで戦闘に引きずり込もうとした工作、シリアでの IS による戦闘の激化とウクライナ問題は連動。

{ 中国はアメリカにケンカを売っているフリをしている }

中国は自分のことしか見ていないから相手が見えないで外交は下手、百年前に李鴻章は勝手に満州をロシアに売った、イギリスは中国を自国の利益の為に利用。AIIB 加盟も米国との役割分担、ロンドンで起債させ手数料を稼ぐ考えであり金を出すことは考えていない。

{ 通貨を握っている金融ユダヤ }

日本人が考える国とユダヤ人が考える国は全く違う、

ユダヤ金融資本家は利益だけで良い製品を作ることに関心はない、どう自分が儲けるかだから世界はドンドン悪くなっていく、米国の労働者賃金もドンドン下がっている、雇用の維持も賃金を上げなければ需要は伸びない企業の減税をしても経済は良くならないお金の供給多寡によって経済を運営するマネタリズムはゴマカシで、この新自由主義経済は共産主義経済と同じで、グローバル市場は一握りのエリート達が全てを支配する体制になってしまう。

ユダヤ人はFRB(米国連邦準備制度理事会)を支配し通貨の供給量を握っている。その走りはイングランド銀行(英国の中央銀行1694年設立)米国の中央銀行に当たる第一合衆国銀行を1791年に設立、資本金の80%は民間、20%を国が保有、米国独立戦争で国は借金で首が回らなくなり1816年同じ条件で第二合衆国銀行を設立、その期限年が来た時に反対した第七代ジャクソン大統領は史上初の暗殺ターゲットとなり、南北戦争は米国の巨大化を恐れた英国が南部諸州をたきつけ合衆国から離脱させよう、と図った戦いだっただけ。

- \* 第16代リンカーン大統領はロンドンシティからの借金を拒否し自ら政府紙幣発行した(この時ロシアは軍艦まで派遣し支援)～彼はその為に暗殺された～
- \* 当時ロンドンタイムズは「政府が通貨を発行したらその国は借金がなくなって繁栄し世界の富は米国に集まるからそういう政府は倒さなければならない」と書いている。
- \* 政府が通貨を発行すれば借金の問題は全て解決する！日本の経済学者はそういう事を言わない・云えない。
- \* 1963年ケネディ大統領は政府紙幣の発行を財務省に命じた為に暗殺された、これは通説ではないものの発行された政府券は後任のジョンソン大統領によりすぐに回収 FRB はドル発行の権限を持っているが100%民間銀行で株主は米英の大手銀行。

{ マイナス金利で世界は変わる }

FRB は金利を上げたいが世界経済に影響するから上げられないし彼らは儲からないマイナス金利はドルを発行する度に自分の持ち分が減っていくことになる、ドンドン金融緩和して世界の金利を下げれば金融資本家は儲からなくなる。

日本は政府が50%以上の株を持っている日本銀行と云う原子爆弾を持っている。

{ 戦争は金貸しの金儲けの為 }

勝 海舟は「氷川清話」で何度も「外国から借金してはいけない」と云っており、彼は日本の救世主、フランスが幕府に金を貸すと云っていて、もし借りていたら日本国内で内戦が起こっていた、明治維新の英雄は「勝 海舟だ」と。

第一次世界大戦・第二次世界大戦も要するに金儲けの為の戦争だった、そういうことを我々は一切教えられていない。

### { 世界の問題のもとにはユダヤ問題がある }

米国の日本非難はユダヤ系メディアや歴史学者、日本が金融市場で良いようにやられているのもユダヤ系の金融家達、世界の諸問題を理解するにはユダヤの発想を知る必要がある、日本人で其のことに気づいている人はほとんどいない。

日本の左翼は唯踊らされ、彼らは自分達がユダヤ思想のエーゼンと気づいていない。そこが問題、自分達を人権派と人道主義・弱者の見方と云っているがそれらはユダヤ思想であり左翼は皆・大資本家の手先だと。

ロシア革命におけるユダヤの役割は学問対象になっており、かなりしっかりした研究で当時のソ連共産党幹部・人民政府の幹部は8~9割がユダヤ系「21世紀を説くカギはロシア革命を正しく理解する事」イタリアのファシズム・ドイツのナチズム・日本の軍国主義など世界の歴史家は全体主義ばかりに注目しているが実際にどれだけの人が殺されたかと云うと共産主義の方がズーと多い、ところが共産主義の問題については誰も何も言わない今も続いている、かつて共産主義や社会主義と云い今はグローバリズムだから近代化とはユダヤ化であり極論すれば移民化する事、国家に保護されなくても生きていける個人、ユダヤ人は世界全体が共同体になると一番安全となる。

### { ユダヤ系移民が米国でエリートの地位を築いた理由 }

少数民族の地位を上げワスパ(ホワイト・アングロサクソン・プロテスタント)の地位を相対的に落とすことで、又最初黒人運動も支援、労働運動など社会運動の主導者の殆どもユダヤ系、1933年ルーズベルト大統領が世界恐慌対策のニューディール政策もユダヤ人の政策で法を書き・合憲の裁判を下した最高裁判事もユダヤ人(ニューディール政策は米国の富を米国だけでなく世界の福祉向上のために使う意図だった)ルーズベルトの父方はユダヤ系・母方は中国とのアヘン取引で大儲けした一族。

### { 米国が中国を共産化した }

ルーズベルトは社会主義を世界に広めようとして戦争したという解釈が今の世界の現状を理解する最大の鍵、シナ事変・大東亜戦争もユダヤ系勢力との戦いだった、シナ事変は日本が攻撃された例、毛沢東の背後にはソ連・英国・米国もいて蒋介石を日本と戦わせたのが西安事件、毛沢東はそのことを知っていて社会党の佐々木幸三委員長が中国に行って謝った時「日本がやってくれたおかげで自分達は勝った」と、騙されたのは蒋介石で日本と戦って共倒れしてくれて中国が共産化できた。

日本と戦う必要があったのはウォールストリート、つまりルーズベルトの取り巻き連中で前の大統領フーバーの「在米日本資産の凍結など1941年7月の経済制裁は対独戦に参戦する為に日本を破滅的な戦争に引きずり込もうとしたものだ」と云ったメモ「フーバー大統領回顧録が出てきた」

極論すれば日本の明治維新以降の戦いも20世紀の戦いもユダヤ金融勢力対世界の戦いだった、日本をユダヤ化しようとしたのがルーズベルトでユダヤ化とは共産化の事でありソ連を共産化し次に中国を共産化し、共産化に立ちほだかる日本を叩いた。

\* 20世紀の近代化は=ユダヤ化の事。

{ 日本型信用社会がグローバリズムによって壊された }

～今のグローバリズムは契約万能主義～

- \* 日本長期信用銀行が外資に買収された背景～国有化されて二束三文で米国のリップウッド等に売られた、契約時に不良債権がそれ以降増加したら全部国家が埋めろと云う「瑕疵担保条項」の条件にハンコを押してしまった、そんな条件が付いていれば住友信託銀行でも他の日本の銀行でも買収に応じた。
- \* 過去の長銀・山一証券、安易に英国人社長を入れたオリンパス、ソニー等外国人が騙そうと思えばいくらでも騙せる。
- \* 日本型取引・社会の特徴は上の人が互いに婚姻で血族として結ばれていた事、そこを米国は「系列はケシカラン」と潰した。
- \* 株の持ち合いを止めることになったコーポレートガバナンス・コードで日本の企業文化経営方式を変えようとしているのが共産主義経済・統制経済に戻ることだ、株の持ち合い解消で買収の対象となる企業は大変。
- \* 契約社会になると日本人はお手上げ、真面目に守ろうとするが幾らでも解釈を変え、都合のいい解釈が出来るようになり非常に危険だ。

{ 山一証券「飛ばし」には大蔵省が関わっていた }

2千億円位の赤字を出す話で大蔵省は今年の税収が減ってしまう赤字にするのは来年にしてくれ、ともかく黒字決算にして税金を払え、後はなし崩し「できた赤字になるのは認めると指導した」大蔵省の大誤算は飛ばしを仕組んだ男がイギリス人で本人が辞めて「山一証券の飛ばしを仕組んだのは俺だ」と。

日下公人氏は当時日本長期信用銀行にいて「大蔵省は絶対に責任は取らない、云うだけ言って逃げる、役所とはそういうものだ」と云ったが皆信じなかった。

{ 安倍さんが役人を変えた }

財務省が消費税を上げると云って日本中宣伝して歩いた、商工会議所や何とか工業倶楽部等で講演を行い、消費税を上げないと日本国は壊れると大合唱になり安倍さんは財務省と戦うには解散総選挙しかない、その時新聞は皆「大義名分なき解散」と書いた、そして安倍さんが大勝利、財務省は大惨敗して相当数の首が飛んだ。消費税を8%に上げた時に財務省の見通しは崩れ増収どころか減収・GDP も下がった。

{ いよいよ日本が世界から見直されている }

長年日本にいる外国人が日本の特徴とか印象を話し合うと「日本の力は外国のモノを日本化する力だ」と云う。

ロシアのピョートル大帝以来の課題は西欧化をロシア化できるかというのがプーチンの悩みである、日本の作り変える力、即ち外来のモノをロシア化する力をロシアに気づかせてあげればロシアは凄く発展する、ロシア正教はいい例でキリスト教がロシア化して出来たもの「人間は良きものとして神に与えられたと性善説、お前は罪人だと原罪を云うから日本人はキリスト教の信者にならない」曾野綾子さんは神道と両立しているのは、懺悔して終わりだからと～日本化している。

\* グローバル化は根無し草の人類になる～移民とはユダヤ化の事であり国家というものを認めない、今グローバル化を推進している日本人はそのことが分かっていないし、日本人には合わない、グローバル化の最大の目的は国境をなくすことで民族文化を否定したら皆が根無し草の人類になってしまう、彼らは皆が金で動く国になって欲しいが日本人の民度・倫理観が高くて、いくらエージェントを送っても日本人は未だ牛耳られない。

\* 日本ほど安全な国はない～ビルゲイツが軽井沢に御殿を建てている、日本が最後に残る、あそこには世界の金持ちが来る。

\* 移民を受け入れたら一挙に治安が悪くなり女性が独り歩きできないようになる。移民は今の生活に不満があるからもっといい国に行って生活したいという自分勝手な発想で移民を奨励して出す国は潰れることになる、それらの面について知識人は何も言わない、移民を受け入れてはいけないと云うことを英国のEU離脱は明快に示している、日本人もハッキリとやめると云うべき。

\* スケールメリットで採算ばかり追求していくと芸術と道徳がなくなる、日本製品が売れるのは、そういう側面があり日本人が作っていると云うことが彼らの選択の最大の理由メイドインチャイナは安く、日本製品は高くても買うその理由は「日本人の作った製品には日本の精神が宿っている」と云う。

\* 人間性を大切にするような人生観に世界が方向転換する時代に来ている、そのことを気づかせてくれたのが、この間のG7サミットの伊勢神宮参拝だった、各国首脳は記帳で伊勢神宮の神気に似たものを感じた表現を記した。

{ 日本は独自の道を歩き始めている }

「物づくりの伝承」

～ハイテクの最先端の製品を作れるのは日本だけという状態になりつつある。

「日本料理の健康性」

～世界の人々が今まで以上に興味を持っている、肝心の日本人がまだ十分に気づいていない。

「再軍備と云う平和の問題」

～日本のように「＝戦いではなく皆仲よくしよう～」の精神をどう世界に広めていくか、マンガやアニメやゲーム等で日本文化の影響を受けた彼らが大人になり始めていて～日本化が十分考えられる。

「今は、産業革命以降3～4百年過ぎて、更に難しい時代がやってくる予感が外国にも日本にもある」

～日本が、もしかしたら新しい風を吹かしてくれるかもしれない、強い女性・発言する日本・頭が良い日本・美しい芸術の日本・立ち上がる日本、日本はグローバリズムに勝ち・合理主義に勝ち・個人主義を超える何かを世界に提示中である～

以上